

子ども・子育て支援新制度について

田村 正秋 議員

質問 子ども・子育て支援事業計画の内容や子育て会議の役割、幼稚園、保育園の保育料の設定のあり方や無償化の動きについて伺いたい。

市長 この計画は、市内を幾つかの区域に分け、区域ごとに新制度の給付、事業の需要の見込み量、提供体制の確保、実施時期等を盛り込むものであり、子育て会議は、この計画に地域の子育てニーズを反映させる等の重要な役割を期待されている。幼稚園、保育所等の保育料は、公定

価格を国が定める。幼稚園、保育所等の保育料の無償化は、今後の国の動向を見守りたい。



▲子ども・子育て支援新制度リーフレット
(内閣府・文部科学省・厚生労働省発行)

一般質問 (要旨)

市政のここが聞きたい

今定例会では、17人の議員が市政全般にわたり一般質問を行いました。質問方式は3種類の選択制で、一括方式、一問一答方式、併用方式（一括と一問一答の併用）のいずれかを議員が選択し、質問しました。

概略の掲載は一問とし3ページから5ページに掲載しました。一般質問の項目は6ページにすべて掲載してあります。

詳しくは、8月中旬発行予定の会議録を市役所情報コーナー及び図書館でご覧いただくか、福生市ホームページからご覧ください。

救急搬送における傷病者の受け入れについて

柳川 英司 議員

質問 救急搬送の受け入れ拒否やたらい回しの問題について、安全安心まちづくりの観点から、医療機関と救急隊だけの問題にせず、行政や市民も含めて取り組む必要性を感じるが、セーフティーネットでもある救急医療体制について伺いたい。

市長 東京都は、救急患者が迅速に医療を受けられるよう、救急医療の東京ルールを策定し、医療圏域ごとに地域救急医療センターを整備して受け入れ先の調整を行っている。

西多摩地域では、福生市内の目白第二病院が地域救急医療センターに指定されている。



▲救急搬送に備える救急車

中学校給食について検討を

末次 和夫 議員

質問 中学校の昼食対策として、現在のランチルームによる弁当併用方式は一定の成果を上げていると評価できるが、給食センターの新設が具体化した現在、今後の望ましい福生の中学校生徒の昼食のあり方について、給食の実地を含め、もう一度検討すべきではないか。

教育長 中学校給食については、市民や市議会の各会派からの要望も出ているところであり、新給食センターの建設に向けての会議の中で検

討を行いたい。その際、現在、昼食対策として実施しているランチルームの検証もあわせて行いたい。



▲第一給食センター調理場の様子

福生水辺の楽校運営協議会の環境大臣表彰について

串田 金八 議員

質問 福生水辺の楽校運営協議会が、平成25年度みどりの日自然環境功労者環境大臣表彰の自然ふれあい部門で表彰されたとのことだが、その活動や功績について伺いたい。

市長 水辺の楽校は、自然体験学習を行う「多摩川で遊ぼう!」、ボランティア養成講座である「多摩川サポーターズ」、水辺の楽校の拠点施設「川の志民館」の管理運営の3つの事業を主に行っている。運営協議会は、子どもを対象とした環境学

習事業に取り組むなど、自然とのふれあいや普及啓発活動に尽力した功績で、今回受賞したものである。



▲水辺の楽校「いかだで冒険、多摩川で泳ぐ」の様子

田園地区の水害対策について

町田 成司 議員

質問 陸橋通り下にある南公園と南田園1丁目地区の住宅地を結んでいるトンネルに設置された水害防護壁の現状について伺いたい。

市長 水害防護壁は、200年に1度の割合で発生すると予測される大雨により多摩川の増水が見込まれる際、職員が事前に設営し、南田園1丁目地内への浸水を予防しようとするもので、設置に1時間程度要するが、予め気象情報により予防的に設置しており問題ない。過去に設置した例

は、平成19年の南公園が冠水した時だけで、その時も水害防護壁のところまで水位の上昇はなかった。



▲水害防護壁設置の様子

全国学力テスト結果の本市における取り扱い

杉山 行男 議員

質問 全国学力テスト結果について、相対的などころを広く公表し、保護者、地域の人々に現状を知っていただくことも大切なことではないかと思うが、相対的な結果の公表と対応、公開について伺いたい。

教育長 本テストの結果について、本市では教育委員会定例会にて、本市としての総合的なデータを示しており、個々の学校名を明らかにした公表は行っていないが、各学校では、個人票を児童・生徒に返却する際、

各自の課題等を明らかにし、その後の学習改善に生かせるよう工夫し、主体的な実践に取り組んでいる。



食育教育の観点から中学校給食の検討を

池田 公三 議員

質問 「中学校給食の検討を開始する」という回答を歓迎する。38年にも及ぶ市民の願いであり、東京26市の中で、最も遅れてスタートするのだから、他市もうらやむような最も優れた内容にしてほしい。そのためにも、中学校給食を単なる昼食対策としてではなく、食育基本法と学校給食法に則り、食育教育としての観点から、福生市の中学校給食について検討していくべきと思うがいかがか。

教育次長 食育教育の観点も含めて検討していきたい。



▲小学校での食育授業の風景